

# 第4期多摩区区民会議 第8回コミュニティ部会

日時：平成25年9月24日（火）18：00～

会場：多摩区役所10階1001会議室

## 次 第

### 1 区民会議フォーラムについて

### 2 審議テーマに関する取組内容について ～具体的な取組、実施主体の検討～

### 3 その他

#### 審議テーマ検討の観点

① 方向合致度

→多摩区の目指すべき姿に向かったものか（ひと・水・緑-住み続けたいまち 多摩区（都市マス多摩区構想））。

② 市民協働性・実現性

→市民協働の手法で解決できるものか。

③ 公益性

→広く区民の利益をもたらすものか。

④ 区民ニーズ・必要性

→区や区民の関心が高いものか、必要とされているものか。

⑤ 緊急性

→第4期で取り組むべきものか、早急な取り組みが必要か、時宜を得たものか。

## 第4期 多摩区区民会議委員名簿

平成24年11月6日現在

任期:平成24年7月1日～平成26年6月30日 (敬称略・50音順)

NO	氏名	部会	推薦団体 及び 活動団体
1	安倍 修司	自然災害部会	多摩区商店街連合会
2	荒井 精一	☆自然災害部会 企画部会	市民公募
3	○石橋 吉章	自然災害部会 企画部会	区長推薦
4	岩崎 宏政	自然災害部会	多摩区・3大学連携協議会
5	◎大津 努	コミュニティ部会 企画部会	多摩区社会福祉協議会
6	清宮 明	自然災害部会	多摩防犯協会
7	国保 久光	コミュニティ部会	川崎市医師会多摩区医師会
8	小塚 千津子	コミュニティ部会	多摩区こども総合支援連携会議
9	白井 正壽	コミュニティ部会	セレサ川崎農業協同組合
10	辻野 勝行	☆コミュニティ部会 企画部会	市民公募
11	○戸高 仁子	コミュニティ部会 企画部会	かわさきかえるプロジェクト
12	西山 英子	コミュニティ部会	多摩区文化協会
13	新田 渉世	自然災害部会	区長推薦
14	配島 裕美	コミュニティ部会	多摩区地域教育会議
15	原田 弘	自然災害部会	多摩交通安全協会
16	藤原 司	自然災害部会	区長推薦
17	細埜 隆己	★自然災害部会 企画部会	登戸土地区画整理事業まちづくり推進協議会
18	本多 正典	コミュニティ部会	市民公募
19	松本 英嗣	★コミュニティ部会 企画部会	多摩区町会連合会
20	吉田 輝久	自然災害部会	多摩区自主防災組織連絡協議会

◎委員長 ○副委員長 ☆部会長 ★副部会長

### 【参与】

#### 市議会議員

井口 真美 河野 ゆかり 斉藤 隆司 菅原 進 露木 明美  
橋本 勝 廣田 健一 三宅 隆介 吉沢 章子

#### 県議会議員

青山 圭一 土井 りゅうすけ

## 第4期多摩区区民会議 開催スケジュール

		平成 24 年度									平成 25 年度														
		8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
区民会議（全体会議）	区民会議 ニュース	★ 第1号発行									★ 第2号発行						★ 第3号発行			★ 第4号発行					
	ミーティング ・ フォーラム	第1回 ● 8/24 ● 8/24 ● 8/24 地域課題について 区民会議の説明			第2回 ● 9/25 ● 9/25 ● 9/25 審議テーマの ア出し			第3回 ● 10/23 ● 10/23 ● 10/23 審議テーマ案の 部会案の決定												区民会議フォーラム ■ 11/23（土・祝）					
	全体会議	第1回 ■ 8/30 ● 8/30 ● 8/30 審議テーマの 確認 運営方法の 検討			第2回 ■ 11/6 ● 11/6 ● 11/6 審議テーマの 設置			第3回 ■ 2/12 ● 2/12 ● 2/12 現状と課題の 全体審議			第4回 ■ 5/28 ● 5/28 ● 5/28 解決策・取組内容 実施主体の 検討			第5回 ■ 9/4 ● 9/4 ● 9/4 解決策・取組内容 実施主体の 検討 フォーラムの 検討			第6回 ■ 11/12 ● 11/12 ● 11/12 フォーラム前 の内容確認			第7回 ■ ● ● 最終報告書の 確認			区長へ結果報告 (最終報告書)		
企画部会 (調整・運営部会)											事前調整 ● 2/4			事前調整 ● 5/22			事前調整 ● 8/30			11/7 フォーラム準備、 全体会の事前調整			事前調整 ●		
専門部会	コミュニティ部会	審議テーマに関する現状・課題 の把握(※)									● 11/6 ● 12/5 ● 1/28 ● 3/11			● 5/15 ● 6/28 ● 7/26 ● 8/19 ● 9/24 ● 10/29			最終報告に向けての まとめ								
	自然災害部会	審議テーマに関する現状・課題 の把握(※)									● 11/6 ● 12/3 ● 1/25 ● 3/5			● 5/13 ● 6/21 ● 7/29 ● 8/22 ● 9/19 ● 10/30			最終報告に向けての まとめ								

\*適宜現地視察や、関係者ヒアリング、勉強会などを開催。

## 第4期多摩区区民会議フォーラムの開催について

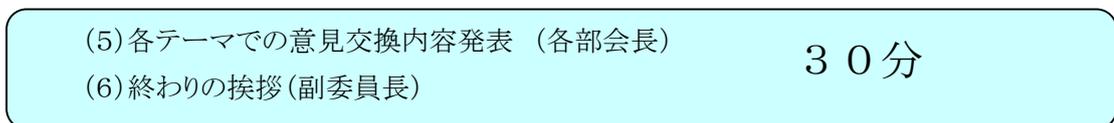
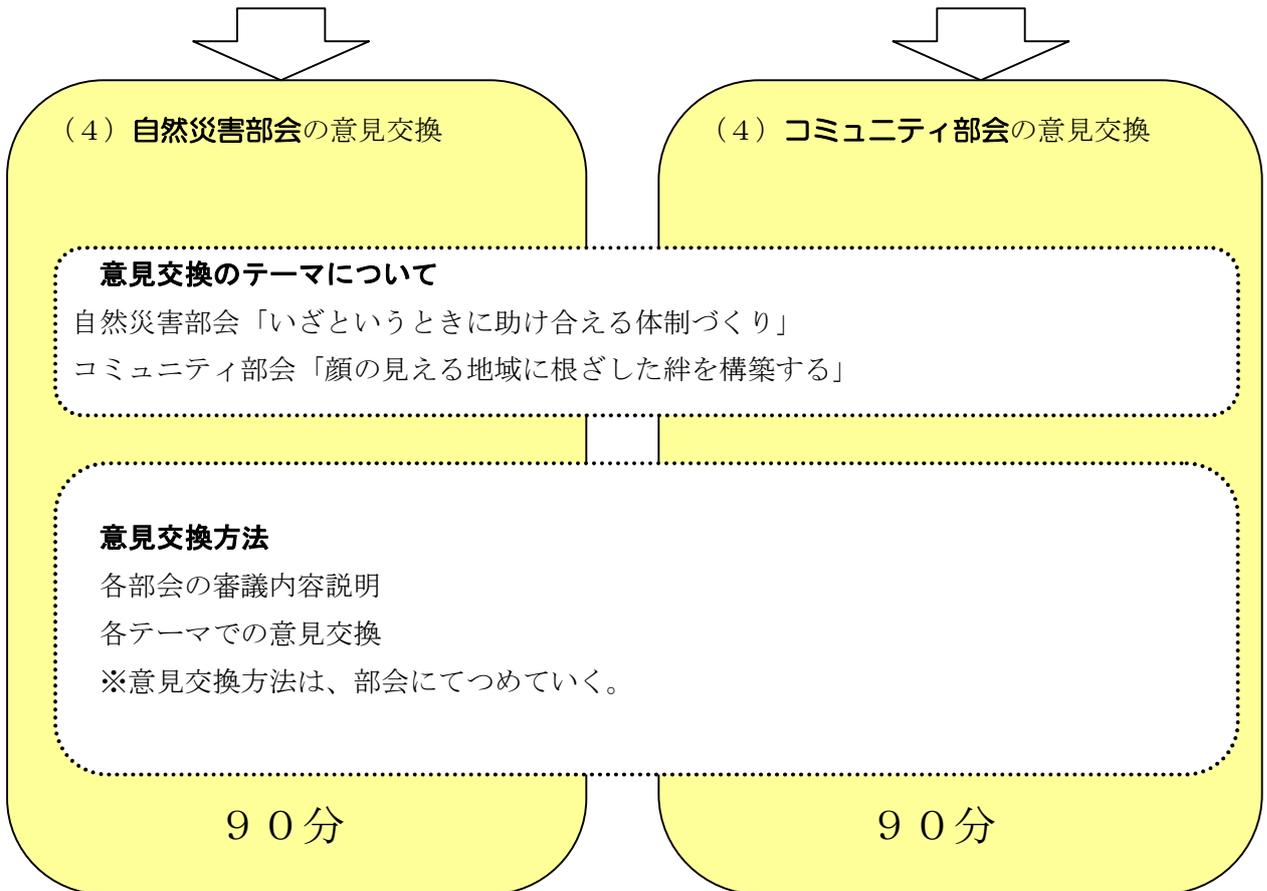
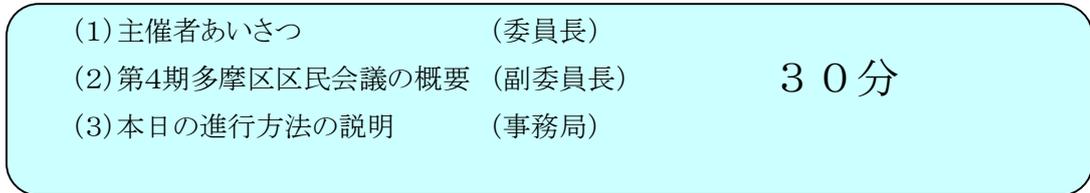
### 1 目的

第4期多摩区区民会議の審議内容について、区民の皆さんへ周知を図り、地域課題について共に考える機会とする。また、区民と意見交換を行うことにより、各審議テーマの提言案へ区民の意見を取り入れていく。

2 日時 平成25年11月23日(土) 13:30~16:00

3 会場 多摩区役所会議室

### 4 フォーラムの流れについて



## 5 役割について

部会（会場）ごとに座長、書記、発表者を区民会議委員から役割分担を行い進行する。

## 6 内容・タイムスケジュール

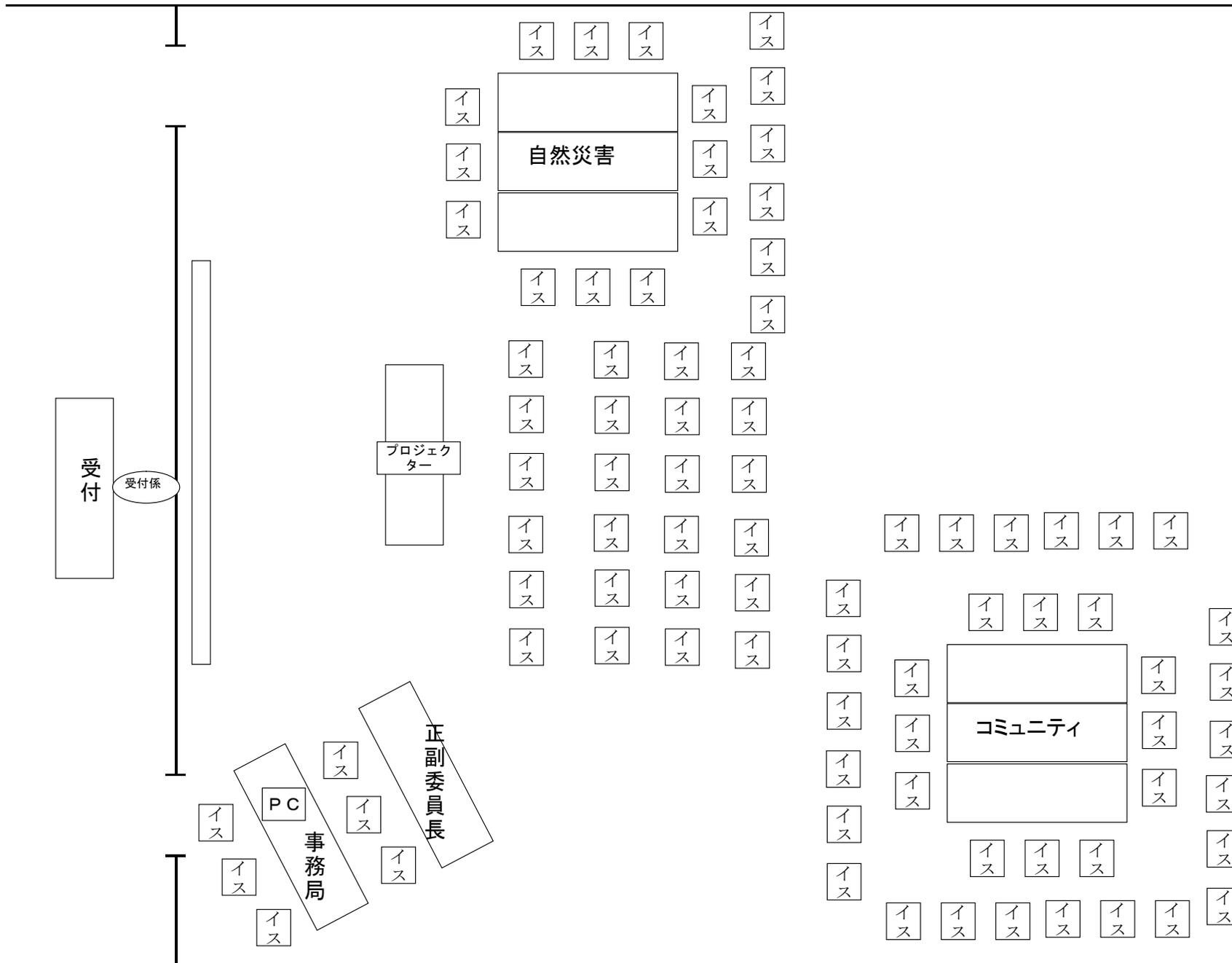
内 容	担 当	時間配分	時間割
(1)主催者あいさつ	委員長	5分	13:30 13:35
(2)第4期多摩区区民会議の概要	副委員長	10分	13:35 13:45
(3)本日の進行方法の説明 (区民会議全体構成の説明)	事務局	5分	13:45 13:50
※希望するテーマのテーブルへ移動			13:50 14:00
(4)テーマ別意見交換			
①自然災害部会	各部会員	各部会により、検討 (内容) 概要説明、意見交換	14:00 15:30
②コミュニティ部会			14:00 15:30
※元のテーブルへ移動する			15:30 15:40
(5)各テーマでの意見交換内容発表	各部会長	15分	15:40 15:55
(6)終わりのあいさつ	副委員長	5分	15:55 16:00
全体終了予定時刻 16:00			

多摩区区民会議フォーラム・コミュニティ部会意見交換の進め方（案）  
 [テーマ]顔の見える地域に根差した絆を構築する

ジャンル	時刻	報告・意見交換	備考（報告者など）
部会全体	14：00	部会の検討経過（5分）	
地域に参加してもらおうし かけづくり	14：05	1 イベントカレンダーの作成（15分） ○検討の経緯（なぜ、イベントカレンダーか） ○検討作業の流れ（アンケート実施・結果など） ○イベントカレンダー試案の考え方 ○作成、配布、更新等の考え方	
	14：20	意見交換（20分）	
	14：40	2 多様な趣味にふれえるしかけ（5分） ○検討の経緯 ○市民館デー実施状況	
	14：45	意見交換（10分）	
	14：55	3 農業の切口から地域の絆が生まれるしかけ（5分） ○検討の経緯 ○事例フィールドワーク ○拡大の可能性	
	15：00	意見交換（5分）	
コミュニケーション能力を育む	15：05	1 あいさつ運動の展開（10分） ○検討の経緯（ラジオ体操の可能性と運動展開案への取組の経緯） ○ラジオ体操アンケート結果について ○あいさつ運動の展開の考え方案	
	15：15	意見交換（10分）	
部会まとめ	15：25	本日の意見交換内容の確認（5分）	
	15：25	部会終了	

# 多摩区区民会議フォーラム

601会議室



## A 地域に参加してもらいしかけづくりについて

### 【取組1】イベントカレンダーの作成

目標：市民同士がふれあえるイベント情報を載せたカレンダーを作成する

#### ■イベント情報の収集

- (1) 町会・自治会アンケートの実施状況確認  
9月〇日町会・自治会に発送。締切9月〇日。
- (2) 商店街連合会に各商店街イベント実施状況の調査
- (3) 区老人会連合会イベント実施状況調査
- (4) 市民館大ホール、生田緑地での区主催イベント調査
- (5) 大学祭調査

#### ■カレンダーの形態などの検討

- (1) 掲載イベント内容の基準
  - 地域の主要なイベント・行事
  - 一部の対象者ではなく一般の人が広く参加できるもの
- (2) 形式
  - カレンダー形式、一覧表形式 など
- (3) 作成時期、更新のタイミング
  - 年1回、半年、四半期、毎月など
- (4) 周知方法
  - 町内会自治会での回覧、町内会掲示板への掲示、公共施設等での配架、ホームページへの掲載（紙イメージそのまま） など
- (5) 実施（作成）主体
  - 区役所、地域活動団体 など

### 【取組2】多様な趣味にふれあえるしかけ

目標：市民館デーに参加し、趣味にふれあえる機会づくりの試行実験を行う

- 平成25年8月25日（日）10時～14時00分 市民館第4会議室
- 活動の総括と提案への盛り込み内容の検討

### 【取組3】農業の切口から地域の絆が生れるしかけ

目標：多摩区らしい絆づくりとして、農業、食育、健康をテーマにイベントを行う

- (1) 地域保健福祉課「食育の秋 in よみうりランド」の実施状況把握  
○平成 25 年 11 月 2 日（土）10 時～12 時半
- (2) 参加者アンケート内容の検討—別紙参照
- (3) 提案とりまとめに向けて白井委員へのヒアリング実施日程（ 月 日）  
ヒアリング内容：○JA 他支店へ拡大可能性の打診、実施上の課題  
○個人農園としての実施可能性、実施上の課題

## B コミュニケーション能力を育む

### 【取組1】あいさつ運動の展開

目標：顔見知りになるきっかけとして、気軽にあいさつできるまちづくりを推進する。

- (1) ラジオ体操に関する町内会・自治会アンケートの確認
  - (2) あいさつ運動の具体的展開方法の検討  
どうすればあいさつが気軽に交わせるか、対象別の運動アイデアを検討する。
- (例)

対象集団	運動のアイデア	推進の方法
区全体		
区役所		
町内会		
学校		
企業		

- ※多摩区あいさつデー、あいさつ週間、あいさつ月間等の設定
- ※神奈川県教育委員会では「あいさつ運動」を展開
- ※標語づくり（川柳、教訓、ことわざ）
- ※あいさつ検定（あいさつ力）

■コミュニティ部会—区長への結果報告までの具体的な道筋を見通し、作業を進めよう！

	具体的な取組	6月	7月	8月	9月	10月	11月	まとめ期間（11月24～3月中旬）			区長への結果報告 成果物のイメージ （実施主体を明示）
		部⑤ 6/28	部⑥ 7/26	部⑦ 8/19	部⑧ 9/24	部⑨ 10/29	フォーラム11/23（土）	全⑥ 12月中旬		全⑦ 3月中旬	
地域に参加してもうしなかけづくり	● イベントカレンダーの作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>主なイベント・行事を載せる。</li> <li>町内会に体育祭、運動会、地域の祭りについてアンケートを取り、情報収集する。</li> <li>区関連イベントを載せる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会・自治会に祭のアンケートを行う。</li> <li>地域教育会議、市民館のイベント情報を集める。</li> <li>イベントの掲載基準、形式、作成時期、更新時期、周知方法作成主体を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会・自治会に祭・イベントのアンケートを行う。</li> <li>アンケートに記入した祭り・イベント情報の公開についての考えがわかるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町会・自治会アンケートの進行状況を確認する。</li> <li>商店街、地域教育会議、市民館のイベント情報の把握方法を確認する。</li> <li>イベントカレンダーの形式等について検討する</li> </ul>						
	● 学びのフェアで出合いの趣味活動（多様な趣味にふれあえるしかけ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民館デーで、ふれあいの機会をつくる。</li> <li>囲碁将棋を柱に多世代が参加するしかけをつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民館デー（8/25）で囲碁将棋、トランプを用意し、ふれあいルームを運営する。</li> <li>囲碁の対応者を確保する。</li> <li>当日9時半集合し、準備、10時から14時ころまで開く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民館デー（8/25）に囲碁将棋、トランプ、マジックの準備をし、チラシを配布し、10時～14時までふれあい活動を行う。</li> <li>参加者アンケートを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民館デーの開催結果を確認し、今後の方向性を検討する。</li> </ul>						
	● 農・食育・健康活動（農業の切り口から地域の絆が生まれるしかけ）	<ul style="list-style-type: none"> <li>まち協開催予定の梨もぎと食育の会とコラボし、同様の会合の開催、JAの意向などを探る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>9月のまち協食育イベントに国保委員の講話で参加する。</li> <li>11月2日のイベントも併せ主催者と協議しアンケートで意向を探る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>11月2日のイベントに参加し、農・食育・健康活動事例の現状を把握する。可能であれば参加者アンケートを行う。</li> <li>白井委員にJAの状況も含め拡大への意向を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>白井委員にJAの状況も含め拡大への意向を聞く。</li> <li>11/2（土）「食育の秋 in よみうりランド」への参加を確認する。</li> </ul>						
力を育む コミュニケーション能	● あいさつ運動の展開 ・ラジオ体操を多世代参加型に ・地域行事を多世代参加型に	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラジオ体操の実態調査を行い、体操とあいさつ運動の可能性を検討する。</li> <li>あいさつ運動の展開方法を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会・自治会にラジオ体操の現況と今後の方向性について聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会・自治会にアンケートでラジオ体操の実施状況を問い、ラジオ体操の可能性を探る。</li> <li>あいさつ運動の展開方法を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町会・自治会アンケートの進行状況を確認する。</li> <li>あいさつ運動展開の枠組み（どの団体に着目するか、どんな手法を取るか）を検討する。</li> </ul>						

コミュニティ部会「顔の見える地域に根ざした「絆」を構築する」検討用シート

テーマ	現状と課題	解決の方向・解決策	具体的な取組	実施主体
地域に参加してもらってしなやかにつく	<p><b>【現状】</b>  <b>人々の地域との関わり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定年退職した男性はそれまで地域との接触が少なかったため、退職後地域活動に関わるよりも会社から開放された自由を楽しむ気持ちが強く、なかなか地域に出てこない。</li> <li>・若い人は仕事中心で時間がなく、地域への参加はむずかしい。</li> <li>・子どもたちは低学年までは地域との接触があるが、高学年になると塾・習い事などで地域に参加できる時間がないため、イベントなどに出てくる子どもが少ない。</li> <li>・戸建住宅の住民は顔見知りになる機会が多いがマンションに住んでいる住民とは顔見知りになる機会が少ない。</li> </ul> <p><b>【課題】</b>  <b>地域に出てくるしなやかにつく</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・退職して家に引きこもりがちの人たちが地域に出るきっかけが必要。好きなことで引っぱり出すしか方法はないだろう。さまざまな能力をもった退職高齢者を地域に引き出すことが必要だ。</li> <li>・やる気のある人は多少の困難があっても、時間をつくって、どんなところだって出ていく。やる気のない人をどうやって引っぱり出すかが課題だ。</li> <li>・地域に出て来ない人であっても、本当はどこかのコミュニティに属したいのではないか。出てこない人をどうやって出てこさせるようにするかが、コミュニティ部会の目的ではないだろうか。</li> <li>・地域の集まりではみんな挨拶や会話をしている。これをどう共助につなげていけるか。</li> <li>・人はたまたま出会ったものを面白い、楽しいと感じて活動が続く。外に出ない人でも、そういう出会いの場をどうしたらつくれるかを考えるとよい。</li> </ul>	<p><b>地域に出てくるしなやかにつく</b>          区民がそれぞれの関心に応じて地域や住民と触れ合える仕掛けを考案し、多くの区民が地域に出てくる機会を増やすことをめざす。</p> <p>(1) イベントカレンダーの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のイベント、行事、祭りなどを載せたイベントカレンダーを作る。</li> </ul> <p>(2) 多様な趣味にふれあえるしなやかにつくの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人々がふらっと参加でき、多様な趣味とのふれあいを楽しめるしなやかにつくを考案する。</li> </ul> <p>(3) 農業の切り口から地域の絆が生まれるしなやかにつくの検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多摩区らしい絆づくりとして、農業、食育、健康をテーマにしたしなやかにつくを検討する。</li> </ul>	<p>(1) イベントカレンダーの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政関係イベントと地域教育会議が把握する地域イベントをベースに、まち協で調べた祭事、せせらぎ館実施イベントを加え情報収集する。</li> <li>・イベントの掲載方針・基準を決め、情報を選択し、媒体の選択、周知方法、情報の更新方法などを検討する。</li> </ul> <p>(2) 多様な趣味にふれあえるしなやかにつく</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「市民館デー」に参加し、囲碁・将棋トランプ、マジックなど退職男性や子どもたちが興味を持てる企画を実施し、ふれあいの機会をつくる。</li> </ul> <p>(3) 農業の切り口から地域の絆が生まれるしなやかにつく</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物をその場で料理するなど、農業、食育、健康のテーマを一度に体験できる活動を行うことを提案する。</li> </ul>	
コミュニケーション能力をはぐくむ	<p><b>【現状】</b>  <b>地域参加のしなやかにつく</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本人が気楽に参加したい気持ちになって、その活動の居心地がよければ、続く</li> <li>・人は誰でも必ず食事をするから、イベントには出て来ない人も食事なら来るということで、多摩ニュータウンには「福祉亭」という食堂がある。地域の絆づくりのためにコミュニティカフェを始めた。</li> <li>・わくわくプラザには1～3年生の子どもたちが20～60人くらい来ている。そういう場に地域の人も手伝いにきている。</li> <li>・大学生によっては、コミュニケーション能力が身につけていないために、学校生活を続けられない学生が生まれた。ある大学では学生に対して大学生活の送り方を学習する機会を設けている。</li> <li>・場所ありきではないだろう。人と仕掛けがあれば、場所はあとからついてくる。</li> </ul> <p><b>【課題】</b>  <b>コミュニケーション能力をはぐくむ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合築のこ文と老人いこいの家では、高齢者との間に好きなことを教え、教えられる関係が生まれ、楽しい活動が続いている。こうした活動を広げられないか。</li> <li>・人とコミュニケーションできる能力がすべての基本である。それが薄れてきた最近の状況をどうやって変えることができるかを考えることが必要だ。</li> <li>・挨拶ができる関係から、コミュニティは始まる。挨拶運動、声かけ運動も必要だ。</li> </ul>	<p><b>コミュニケーション能力をはぐくむ</b>          知り合いになるためのきっかけとして気軽にあいさつを交わせるようなコミュニケーション能力をはぐくむ仕掛けを検討、推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体操は健康・長寿に役立ち、あいさつできる関係につながるのでみんなで集まって行う体操の普及を検討する。</li> <li>・地域内であいさつできる関係が生まれる集まりの開催手法を検討する。</li> </ul>	<p>(1) あいさつ運動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ラジオ体操を多世代参加型に変えるアイデアを検討し提案する。</li> <li>・地域でも行事に多世代で参加できる企画を提案する。</li> </ul>	